



所公人報部 行丘集館刷株式 社 田編公印刷株式 龍共市印刷株式

清水新市長に聞く

生産都市をめざして 農工商の一体化



清水新市長(右)と関係者との懇話会

△飯田合併以来事実上、初の公選市長として清水新市長が誕生し...

△近年、全国各地、言われる工業団地という方向に逆行しないか...

△自主農家の育成 将来の農業 農工商の一体化...

△水道四六年以降 水質の悪化が懸念...

△社会教育の充実 市民意識の高揚...

△減税困難か 市税の削減は...

△長野原 佐々木春男さん 長野原 佐々木春男さん

△バブ叔 新春を迎えお慶び申し上げます...

△若年労働者を如何に留めるか...

△健康な農業とは 健全なる農業とは...

△道路の改良舗装 道路の改良舗装を重点に...

△原康次 知事のご挨拶...

△塩沢義男 存じます...

△新市政に望む 市になって気が付いたこと...

△市税の削減は 市税の削減は...

新市政に望む

市になって気が付いたこと... 塩沢義男

市税の削減は... 原康次

市税の削減は... 塩沢義男

市税の削減は... 原康次

市税の削減は... 塩沢義男

市税の削減は... 原康次

市税の削減は... 塩沢義男

Various small articles and notices on the left side of the page.

# 有放も公社線に接続

## 四十二年十月には自動化完成

有線放送電話が開設されて十数年、今では一時も欠くことの出来ない重要な施設となり、その普及は非常に大きなものがあります。

この施設も老朽化の激しいものが多く、四十二年十月の許可更新には、約八千円の経費が見込まれる等、将来と周囲の状況からして、この際自動化を進めて、施設の近代化と通常経費の削減等を計ることが最善だと云うことになり、現在通り市営で進めるべく準備を急いでいます。

自動化になった時の利点としては一回線でも通話内容が他人に聞えず、ダイヤル一つで全市の加入者へ即座に通話が出来、昼夜の別なく随時通話が可能となる。

又、公社線への接続が可能となり、県内ほとんどの公社加入者へ接続出来る、呼び出される家庭にベルが鳴り他の加入者への迷惑は掛らず、更に人件費が年間一千三百五十万円削減されるようである。

# お母さんと娘の集い

## 婦人集会開かる

第二回電丘婦人集会が公民館・嫁・姑の問題 中心テーマの二つの実行委員会主催のもとに去る十九日午後電丘支所で開催された。

参加者八人の生活の中の問題点を上げて話し合いました。

中では、第一、婦人としての要求は同じで平和な社会を建設する事が必要である。第二、正しい事は多少の困難があっても理解されなければならない。第三、婦人同志の話し合い重要である。第四、結婚生活の悩み、苦しみ、原因を追究し、苦しみをお互いから取り除く。第五、結婚生活の悩み、苦しみ、原因を追究し、苦しみをお互いから取り除く。

# 謹賀新年

明けましてお目出度う御座ります。広報部一同今年も地区民から愛され親しまれる館報の発行に努力致す覚悟で御座ります。

さて新しい年を迎えて長らく使用致しておりました館報の題字が新しく変更されました。題字、木下富士、地紋、熊谷伊久夫両氏。

△時代の変化がますます激しく加はれる今日この頃、地区民が気楽に使用できる独立公民館が電丘にも是非ほしいもの……今年あたり何かそのきっかけを作りましょう。

広報部 一同

# 飯田市民館大会

盛大に開かる

第六回飯田市民館大会は去る八日飯田市役所に日頃公民館の活動にあたりたい役員及び関係諸団体の方々約三百人が集まり盛大に開催された。

この大会はますます進展する社会の中にあつて日頃公民館の活動に努力している人たちが一堂に会し、当面する社会教育の課題を確め、住民の教育活動がより活発になるために公民館の諸条件を整備をはかり、自主的な学習要求にこたえるために開かれたもので今年で六回目である。

各地区から提出された活動の実践レポートを中心に、社会教育の行財政、青年、婦人、老人の学習の問題、分館の活動、文化、広報の活動、読書活動の問題など九分科に分かれ熱心な討議が行なわれた。午後は記念講演として日本農文協山田民雄先生の「地域の文化活動について」と題しての講演を聞いた。

尚、開会式の席上公民館の活動に功勞のあつた方々へ感謝状が贈られ、電丘では広報部長の関島東洋雄氏と部員の塚平三郎氏の両氏が受賞した。

# 占領支配と ゆがんだ観光

私たちが迎えたのは、沖縄日米本旅行会社の職員三名と民族衣装を着た女性数人とバスガイドと運送手とで私たちに渡されたものが、第三家のおかきで甘汁を吸う者たちの権力のまかしでした。

（文）大見新一

# 沖繩報告

どこを向いても金網の差別 影は禁止です。

沖繩の復興はゴマカシ

バスは那覇市内の一審華街の奇跡の「マイル」と呼ばれる、国際通りを走る。ほとんど土産店開闢が掛からないので、宝飾や洋酒、時計、万年筆が本土よりはるかに安い。でも市民の生活必需品など選に本土より二割から五割高くなっている。その理由は、国際通りと表通りを走る、焼土化した沖繩の地盤が軟弱で、道路の修復に多額の費用がかかるからである。

また、沖繩の復興は、立派に復興したとはいえず、平和じゃないかと思つた。でも琉球政府と米政府の住宅政策は、私たちがバスで見たように道路から見ると、一歩も進んでいない。資金を金貸しと与えるが、一歩も進んでいない。一ドルも貸し出さない方針が出ています。ですから沖繩を訪れる観光客は、立ちならぶビルや商店をみて、復興しているではないかと本気で驚かされています。

観光客は、立ちならぶビルや商店をみて、復興しているではないかと本気で驚かされています。

# 鉛筆について

「鉛」といって下駄の上で歩かせるようにしたもので、鉛の具をつかって書いた日本画です。「鉛」は鉛筆の具を指すので、鉛筆の具をつかって書いた日本画です。

# SBC賞に輝く

前島 悟月氏

「鉛」といって下駄の上で歩かせるようにしたもので、鉛の具をつかって書いた日本画です。「鉛」は鉛筆の具を指すので、鉛筆の具をつかって書いた日本画です。

# 電丘村誌

発行に よせて

電丘村誌をつくるという計画は、十四年目ようやく出来上った。電丘村が飯田市の合併した前年、すなわち昭和三十一年のことである。電丘村が合併した前年、すなわち昭和三十一年のことである。

# ダンブカー

ガソリン税10%値上げの話が聞かれます。

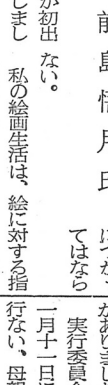
ガソリン税10%値上げの話が聞かれます。



前島 悟月氏



前島 悟月氏



前島 悟月氏



前島 悟月氏